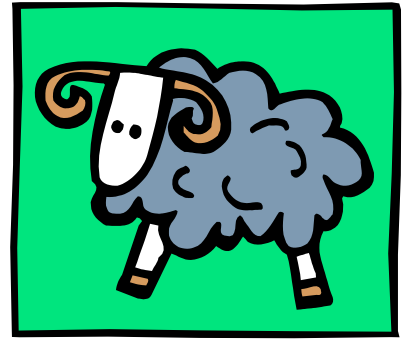


NEWS LETTER



NO.15 2003.6.30

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）

〒658 - 0003 神戸市東灘区本山北町 3 - 2 - 10

☎078 - 453 - 5941

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

ひろばのホームページを見ました、と言って問い合わせをされる方が増えてきました。そんな時代なんだなという感慨とともに、そろそろ本気でホームページの刷新をしなければと少々頭の痛い昨今です。求む、IT に強い情熱家！

日本語学習支援だけが「にほんごひろば岡本」の活動ではありません。料理や手芸、折り紙、カラオケ、観光案内に買い物など、教室を離れて学習者と有意義な交流を楽しんでいる人たちもあります。好きなこと、得意なものを生かした自分らしい活動で支援者自身が生き生きと輝いて下さることを願っています。

もちろん、学習者に正しい日本語、美しい日本語を習得してもらうようお手伝いするのが日本語学習支援者の大切な役目です。「日本語の乱れ」が言われて久しいですが、この基本を忘れないで、よりよい学習支援ができるように不断の研修を心がけたいものです。

これらの努力が上手くかみ合う時、「にほんごひろば岡本」の活動に幅と厚みが増すのだと思います。

5月17日に第4回総会が開かれ、今年度から、学習

者からも運営委員会のメンバーを選出することになりました。これは設立当初からの課題だったのです



が、王禹（オウ ウ）さん（中国、ひろば歴3年）グレッグさん（USA、ひろば歴3年）が快く引き受けて下さり実現しました。お二人には、学習者募集やイベント案内のチラシ作成、新しい学習者との通訳など今までにも色々と協力してもらっています。今後、学習者と支援者のパイプ役としてよりいっそう重要な役割を果たして下さることになります。文字通り、みんなで作る「にほんごひろば岡本」への第一歩を踏み出したと喜んでいきます。（西村佳子）

Contents

【特集】研修ラインナップさらに充実！！.....2

【連載】学習者・支援者の紹介.....3

学習者の自己紹介.....6

【NEW】目からウロコ話.....7

【その他】第4回総会と懇談会の報告.....7

ニュージーランドからの手紙..... 8

【お知らせ】ステップアップ講座・夏期休暇..... 8

【特集】研修ラインナップさらに充実！！

第4回総会で、研修制度を充実させていくことが決まりました。そこで、副代表でもあり、立ち上げ以来ずっと研修を担当して下さっている松蔭女子学院大学の下田先生に、新しい研修内容を詳しく教えていただきました。

1999年11月の「にほんごひろば岡本」の設立以来、日本語学習支援者のための日本語教育に関する支援活動を担当しています。具体的にはワークショップという形で支援者交流も含めた講習会を開いてきました。これまで開催したワークショップのテーマを以下にあげておきます。

- 1.99-12-25 『助詞の話し』・タスク：「話し」を引き出す
- 2.00-3-11 『可能表現』
- 3.00-6-25 『あげる・もらうの文型』
- 4.00-10-15 『中級の日本語教育』
- 5.01-6-23 『なめらかな日本語とはどんな日本語か』
- 6.01-10-27 『条件表現「たら・ば・と・なら」』
- 7.02-2-16 『受身表現』
- 8.02-6-15 『「敬語」と待遇表現』
- 9.03-3-1 『日本語の発音』 講師：山縣千枝



* 兵庫日本語ボランティアネットワーク主催の日本語学習支援者養成講座（2002.9.7 から 10.26 の土曜日）「にほんごひろば岡本」で開催。

この3年間の活動を見てみると、支援者からの要望が多い初級基本文型のなかの文法・文型の解説、教え方などが中心になっています。毎回、次回の要望や質問疑問をアンケート用紙に記入してもらい、それに答えるという形で進めてきましたが、4年目に入り日本語教育の支援活動も多様化するニーズにあわせた、より質の高いきめ細かいものにしてはどうかという意見が運営委員会では出されました。その結果、従来のワークショップを発展させた形で3つの柱を立てることが決まりました。

1番目は「初心者お助け隊」

これは少しずつ入れ替わっている支援者の中でもとくに新しい方にベテランの支援者の活動を見学してもらったり、個別に支援活動をサポートするというもので、すでに佐古田さん、山下さん(写真上)、吉田さんが行なっています。

2番目はひろば独自の「ステップアップ講座」の開催です。

今年度は連続5回の講座を9月20日、27日、10月4日、11日、18日の土曜日(1:30~3:30)に行なう予定です。「みんなの日本語」23課~27課を毎回一課ずつ丁寧に解説し、具体的な教え方をまじえて実習します。講師は日本語学校講師(松蔭の卒業生)などを予定しています。

3番目は従来のワークショップを支援者交流の場

としての性格付けをはっきりさせ、そのうえで、あるテーマについて共に考え理解を深めていこうというもので、年4回開催が目標です。今年度の第1回(5月17日)の支援者交流会では日本語教育の支援だけでなく共生の場として「ひろば」にどんなことができるのかなどが話し合わせ、普段あまり顔を合わすことのない方同士、泣き笑いの体験談をまじえて有意義な時間を共有できました。第2回は支援者交流をしつつ「地域の日本語支援と方言(関西弁)」をテーマに8月23日に開催します。多数の方の参加をお待ちしています(詳細は8ページのお知らせをご覧ください)。

学習者紹介

林恒焔(リン コウエン)君 男性(中国出身)

中国のニュージェネレーション

林恒焔君。恒焔ってすごくいい名前だと思います？ 永遠に燃える炎です。彼のおじいさまが付けられたそうで、彼もお気に入りの名前なのに、最近生命判断の本で調べてみるとあまり良くなかったとか、そんなことを少し気にするいまどきの男の子です。



— 昨
年の
4
月
に
ご
両

親と

共に福建

省から来日、中華同文学校を経て現在県立芦屋南高校理数科の2年生。成績は常にトップクラスの頑張り屋さん。国語は苦手科目といいながら先日の中間テストの古文はクラスで一番だったとか…。私に恥をかかせぬようにとの彼の心遣いからか、古文は一度しか一緒に勉強したことないのですが…。

春休みの読書感想文を書くために『少年H』と一緒に読みました。同じ年頃の主人公、神戸が舞台と、彼とだぶるところがあるものの、時代は戦争中。戦争で日本は中国に対して謝っても謝りきれないようなことをしており私としてはとても心が痛みます。でも彼は「火垂るの墓」のビデオを見て「すごく可哀相」と言ってくれる心優しい子。日本の軍隊は中国で大変悪いことをして中国の人を苦しめてごめんなさい。どこの戦争でもいつも犠牲になるのは子供や市民。『少年H』で御真影がどの家庭の壁にもあったというくだりで、私が「まるで北朝鮮やね」というと「中国にもありました。キモい！」という返事。中国のニュージェネレーションという感じが。が、そんな彼も日本に住む中国人の友達が中国語を忘れてしまっていることを嘆いています。

17歳にして二つの国の違う体制を体験した林君、

どうか自分の目、耳で確かめて、自分の頭で考えて貴方の決めた道を進んで下さい。(古瀬尚子)

林佳佳(リン ジャジャ)さん 女性(中国出身)

漫画描くの大好きです

林佳佳ちゃんは中国出身の16歳、中華同文学校の中学3年生です。日本に来たのは今年の8月で12月からひろばで勉強しています。

学習は主に学校の日本語の授業の予習です。教科

書「現代国語3」の本文を読んで内容確認をしています。日



本の中3の国語教科書なので日本語学習を始めて1年も経っていない彼女にはとても難しいと思います。でも彼女はよく勉強していて、頭の回転も速く、漢字やわかる言葉からだいたい文意を理解して

いるので驚きます。最近では話もよくするようになりました。初めはいつも紙に絵や漢字を書きながら話をしていましたが、今は簡単な話は紙を使わなくてもできるようになりました。

彼女に好きなことは？と尋ねるとニコッと「ハンサムな人を見ること(笑)と漫画」と答えてくれました。嫌いなのは体育だそうです。体育で跳び箱をしたことを話す彼女は(何であんなことしなきゃいけないの!)という様な顔をしていました。中国の体育は走ることが中心で跳び箱をした(-にぶつかった)のは始めてだったそうです。

表情が豊かで、好きなこと楽しいことは笑顔で楽しそうに話し、嫌いなこと面白くないことは本当に



嫌そうな顔をして話すので言葉が少し足りなくても、気持ちがよく伝わります。よく勉強するし覚えが早いので、これからもどんどん日本語が上達すると思います。彼女ともっと話ができるようになるのを楽しみにしています。 (森喜代子)

*前ページのイラストは林佳佳さんの作品です。林恒焯君と林佳佳さんは兄妹です。

孫 銀珠(ソン ウンジュ)さん 女性(韓国出身) 日韓主婦パワー全開です

孫さんは、3年前に神戸商船大学留学生のご主人と一緒に日本にいられました。



お料理
上手で、
やさしく
て熱烈な
阪神ファ
ンのご主
人と、2
歳で元気
すぎるヨ

ンちゃん(男児)との3人家族です。

韓国では免税店で日本語を使って働いておられました。そのため少しは日本語に自信があったのに、来日して生活し始めると自分の日本語がなかなか通じないことにショックを受け、もっと上手になりたいと痛感したそうです。今は子育てに忙しく、なかなかまとまった勉強時間がとれないのが悩みですが、「日本語能力試験1級受けるんです」とやる気満々です。

私は、人生の後半、平凡な主婦でも何か人の役に立つ事ができないか?!.....と、思い切って飛び込んだ日本語ボランティアですが、および腰の私を後ろからドーンと突き飛ばしてくださる(?)西村さんのおかげで、孫さんに会うことができました。

どんな方だろうか? 私が教えることができるだろうか? 会う前は不安ばかりで、やめてしまいたいぐらいでしたが、初対面のとき、「先生、やりましょう!」との孫さんのパワーに、私の背筋もピンと

伸び、「孫さん、やりましょう!」と、前進あるみのペアが結成されました。

以来、日本語中級読解入門、新聞にでる漢字、能力試験問題集など、同時進行で私も勉強しています。それに加え、食べるのが大好きな私は、韓国のお祝い料理の“シケ”やお好み焼きみたいな“チヂミ”をご馳走になりました。私はイチゴジャムをあげたり、バレンタインケーキの作り方を教えて大失敗(オーブントースターでは難しいので、彼女の腕前のせいではありません)したりしています。また、夫や育児のグチの爆発の場にもなり、国の習慣の違いや、家庭観、女性観、将来の希望など彼女との会話は多岐にわたります。

孫さんは、帰国後、日本語を生かして日本の貿易会社への就職や通訳ガイドなどをめざしたいと語っておられます。また韓国の子供たちに日本語を教えるボランティアもやりたいと、とても意欲的です。

結婚しても夫婦別姓だからというだけではないでしょうが、孫さんが自分の人生設計をしっかり持っている自立した女性であることに感心し、また教えられることの多い日々です。

「教えてあげる」なんて思っていた私が、反対に元気をもらったり、視野が広がり、素直に好意を交換できる人のつながりに喜びを感じています。

4月から、ラジオでハングル講座を聞き始めました。パズルのような面白さで、ハマッています。いつの日か、孫さんが韓国に帰ったら、訪ねて行こう!とひそかにたくらんでいます。

「ボランティアは、人のためならず、自分を生かす喜びなのですね!」と言ったら「(当たり前という顔で)そう ですよ!」と、また西村さんに一喝されました。アチャー!(^^)! (松井千津子)

グロリア・アデバンジョウ・ボーイさん 女性(イギリス出身) お習字に夢中です

昨年10月から担当しているグロリアさんを紹介いたします。イギリスから来た24歳の女性です。

イギリスで生まれアフリカのナイジェリアで育ち、

8歳の時再びイギリスに渡り、美術の専門学校を終えて、2001年に日本にやって来ました。現在は“タイム・イングリッシュ・スクール”の岡本校で先生をしています。生徒さんは子供から大人まで幅広く教えているそうです。先生をしているせいか、時々私の教え方に共感したり、アドバイスをしたりしてくれます。また、時には私の英語をさりげなく直してくれたりして、先生に変身したりします。学習者としては先天的に耳がいいのか発音は上手に私のまねをします。変な日本語を使うとそのまま吸い取り



紙のようにまねされるので、油断がなりません。

現在

彼女はお習字に凝っていて、休みの日は朝早く起きてお習字の練習をしています。

漢字の意味を少し説明するととても興味深く聞いてくれます。西洋の文化とまったく異なった東洋の文化に何か哲学的のものを感じているようです。早く日本語も上達して、もっと深く日本の文化にも興味を持ってほしいと思います。 (佐古田幹子)

佐々木雅美(みゃび)さん 女性(中国出身)

勉強熱心な16歳

上海出身の佐々木雅美さんは、今年の2月に来日し、3月から「ひろば」で勉強しています。彼女の日本語の上達にはいつも驚かされます。この物覚えの良さは若さ故?とも思ったのですが、彼女の場合、日々の努力がそうさせているのです。授業の前に「昨日は何をしていたの?」と尋ねると、いつも「ずっと勉強していました」と答える彼女。一番多感な時期に家に籠もって毎日勉強ばかりしているのはかわいそう.....と思いつつ、この努力が必ず報われる日が来るから頑張って!と励ましながら楽しく支援させてもらっています。

中国を旅立つ彼女に親友たちは「もし、日本でいじめられたら、私



たちがすぐ飛んで行くから」と心強い言葉を送ってくれたそうです。これから高校に進学して、生活習慣も文化も全く違う日本での生活は楽しいことばかりではないかもしれませんが、それ以上にたくさんの可能性も秘めています。そして、何でも話し合える日本の親友に早く出会えるといいですね。

その前に、今は「高校入試」という大きな目標に向けて一緒に頑張りましょう。 (堀 かおる)

*写真左が堀さん、右が佐々木さんです。

支援者紹介

堀 かおるさん

私の異文化交流

はじめまして。約1年前から「ひろば」でお世話になっています。現在、2人目の学習者(今回の学習者紹介に登場している佐々木雅美さん)と一緒に勉強しています。

最初に紹介して頂いたシンガポール出身の林(リン)さんとは、昨年のお花見の時、初めて会いました。満開の桜の下で、林さんの息子さんや友達と楽しい時間を過ごしたのを覚えています。

林さんとは日本語の勉強だけでなく、シンガポールカレーをご馳走になったり、パーティーに招待してもらい、今でも仲良くお付き合いしています。

そもそも、私が日本語学習支援に興味を持つようになったきっかけは、留学先の語学学校での体験からでした。国籍も宗教も違う人たちが同じ教室で一つの言語を学ぶことがとても新鮮に感じられました。私も異文化に触れられる生活がしたいと思い、帰国後、日本語教師養成講座に通い始めました。日本語を母国語にしている人なら、誰でも教えられるだろうと簡単に考えていた私は、日本語の難しさに驚き

の連続でした。

そんな私ですが、今まで何人かの学習者と出会ったり、そこからまた輪が広がったりと異文化交流ができるこの環境に感謝しています。これからも頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします。

学習者の自己紹介

将来は日本との架け橋に

マーティン・ストロンベック(スウェーデン出身)

こんにちは！マーティン・ストロンベックです。北ヨーロッパのスウェーデンから来ました。名字の意味は英語の STRONG BACK(強い背中)ではなくて、スウェーデン語の STROMBACK で「速く流れている小川」という意味です。スウェーデンでも日本と同様に自然からとった名前が多いです。



私は岡本で働いていますが南大阪の和泉府中に住んでいます。なぜなら、私の彼女は関西国

際空港で働いていて、彼女が通勤出来る所に住まなくてはいけないからです。私の通勤はちょっと大変ですが頑張っています。私の毎日の通勤電車は日本語の勉強の場所になりました。漢字を覚えながら満員電車で揺られています。一生懸命勉強していたら気が付くと JR せっつもとやまにもう着いています。

最初日本に来た目的は、大学生の時どこに留学するかと考えた時日本は珍しくて面白そうだったからです。でも私のおばあさんはショックでした。遠いし危険な国だと思っていたかもしれません。スウェーデン人は日本についてあまり知りません。中国と日本の違いが分かりません。でも日本人も同じ間違いをしていると思います。例えば白人は皆アメリカ人だと思う人が多いでしょう。そしてどうして日本人は難しい“はし”を使うのが分かりません。

フォークとナイフの方が使いやすいでしょう。家は紙で造られていると思っているスウェーデン人が多いかもしれません。私はスウェーデンに帰った時は日本のことを皆に教えてあげたいです。

今回日本に来た目的はもっと日本語を上達させるためです。将来スウェーデンと日本の関係がある仕事をしたいからです。よろしくお願いします。

“楽しみ”に勉強しよう

温 納新(中国出身)

私は中国の大連から来日した温 納新(オンノウシン)です。日本へ来てからもう一年になりました。今、船舶管理の工務監督として日本の海運会社に勤めています。



最初来た時生活が困った状態も覚えていました。振り仮名だけ読めたか

ら、日本の方との話が全然できなかった。買い物や散髪に行く事等いつも心配していた。毎日一生懸命日本語を勉強していたが、仕事で船との連絡又会社の同僚との交流はいつも英語を使いましたから、日本語の練習の機会が少なかった。元の思いより倍にむずかしいと思いました。

友達より「にほんごひろば岡本」という勉強のところを知りました。週に一回2時間ぐらいだけの学習でもとても楽しいです。先生はとても親切だし、知識も広いです。語学だけでなく、日本の生活・文化などいろいろ教えてくれてとても役立ちます。無論日本語の上達が早くなりました。ほんとにありがたいです。

来日してから日本の方が“働きばち”という言葉を実感しています。仕事が忙しいし、残業も毎日の事です。退社後も疲れてしまうが、けれども「にほんごひろば岡本」での勉強は非常に熱中しています。楽しみに勉強しに行きましょう。

< にほんごひろば岡本 第4回総会と懇談会の報告 >

「にほんごひろば岡本」第4回総会と懇談会が2003年5月17日(土)午後1時より開かれました。出席者22名、委任状提出者17名で登録者数48名の過半数を越え、この総会は成立しました。今回の総会の中で特徴的だった議案は、日本語教育ワークショップの新しい位置づけ、支援初心者のための“お助け隊”の設置、運営委員の学習者参加、交通費は半額支給を継続させる等です。

また、ワークショップを広げた意味で「ひろば」主催の研修会(日本語学習支援者ステップアップ講座)を外部からの講師に講義をしてもらう案も出されました。これは、「実際にすぐ役立つ教え方」として、『みんなの日本語初級』を丁寧にやっていくことが計画されています。

総会に引き続き下田先生を囲んで懇談会が設けられました。支援者が現在抱えている問題や、学習者との間の悩みなどをざっくばらんに話し合っ、和やかな雰囲気での懇談会で、とても有意義だったと思います。

当日参加できなかった人のために、総会の議事録を作成しましたので、ぜひ目を通して下さい。

<今年度の役員並びに運営委員は次の方々です。>

代表：西村佳子 副代表：下田美津子, 四本 裕 会計：佐古田幹子 会計監査：黒岩元晴, 竹中興時 運営委員：天羽修江, 市川邦子, 井畑真理子, 長嶋昭親, 橋本桂子, 古瀬尚子, 松見和代, 王禹, グレグ・ベンソン(敬称略)



【NEW】 <目からウロコ話> Vol.1

日本語支援をしていると何気ない会話の中から「目からウロコのお話」がでてきました。異文化に触れてみてください。いろいろ面白いことがあります。



韓国編

その1：韓国洗濯事情

日常の下着とか、タオルなど色落ちしないものは、まず大きなお鍋に煮てから洗濯機に入れて洗濯するそうです。除菌などにも良いそうですよ。めんどうなので、最近では若い人はあまりしないようです。

その2：韓国入浴事情

毎日湯船に浸かることは少なく、シャワーにかかった後、週1~2回は黙々とアカスリをするそうです。



ドイツ編

その1：独国の誕生日

実際の誕生日よりも前に「おめでとう」を言わないそうです。前に言うと「幸運」がやって来ないそうです。みなさんもご注意ください！



その2：独国の指輪はどっちに？



婚約指輪は男女とも左手くすり指にシルバーのものを、結婚指輪は女性は右手くすり指に男性は左手くすり指にゴールドのものをするそうですよ。

目からウロコ話のイラストは古瀬尚子さんにお願いしました。

ニュージー



ーランドからの手紙

こんにちは。額田です。

ニュージーランドに来て約3カ月が経過しました。一度ご連絡させていただきたいとは思っていたのですが、やっぱり色々大変なことも多く今になってしまいました。

私は北島のオークランドのミルフォードというところに住んでいます。静かなところで環境は最高です。しかし、生活をしていくとなると問題も山ほどありまして、交通の便が悪いとか、思ったほど物の値段が安くないとかで。しかし何とか頑張ってます。

こちらでは日本語教師の仕事も探してみましたが、ちょうど学期の途中ということもあって、どこも採用をしていないということでした。

それで、今はかねてより考えていたインターネットを使ったビジネスを始めています。内容はこちらにある語学学校を留学生やワーキングホリデーの人たちに紹介していくというものです。他にもオークランドの情報とかを載せています。

それと、日本語に関する事で、こちらに住んでいる日本人とニュージーランド人のハーフの子供に国語というか日本語というかを教えることにしました。こちらで教室を開いている方がいらっしゃるしまして、その教室で私も教えるということになりました。また、算数も教えることになり、今一生懸命30年ほど前の記憶を思い出そうと努力しております。

生活面では安定したとは到底言いにくいのですが、少しずつでも進んでいけるようにしたいと思っております。日本に帰ったときには「ひろば」におうかがいします。

Liv-info 額田 優

Auckland Living & Culture Information New Zealand

<http://liv-info.web.infoseek.co.jp>

maehi@ihug.co.nz

<お知らせ>

その1；第2回日本語教育ワークショップ&支援者交流会

8/23(土曜日, PM1:30~4:00)に開催。ワークショップのテーマは「方言」です。交流会では、日頃の支援に関する疑問・悩みなどをみんなで話しましょう。たくさんの参加をお待ちしています。

その2；日本語学習支援者ステップアップ講座

9/20,9/27,10/4,10/11,10/18(いずれも土曜日 PM1:30~3:30)に行ないます。教材は『みんなの日本語』23課~27課で、受講料は1回500円です。

その3；夏期休暇

7/30(水),8/2(土),8/6(水),8/9(土),8/13(水),8/16(土)です。